

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
2008年6月1日発行
隔月発行・通巻No.162
小誌はホームページからも見られます

もくじ

- 2 情報ポケット
- 3 施設めぐり
- 4 特集 ふれあいサマーキャンプ
- 6 まち・ひと・多面体
- 7 シニアのパレット



岡本太郎「樹人」1968年 川崎市岡本太郎美術館蔵

誌上ギャラリー

1967年、岡本太郎(1911-1996)は日本万国博覧会のテーマ展示プロデューサーに就任しました。「太陽の塔」をはじめとする万国博覧会の仕事、さらにメキシコオリンピックにあわせて開業されるホテル内の壁画制作など、多忙をきわめていた時期に「樹人」を制作しました。68年6月《岡本太郎 生命・空間のドラマ 太郎爆発》展を開催し、そこで作品を発表しました。発表時は「躍動」というタイトルでした。その後、71年にパリで開催された芸術祭に出品し《祭りの王様》に選ばれました。本来は動かないはずの樹木に、「人」のイメージを持たせることで魂を感じさせることに成功し、生き生きと動くさまを反映させました。



(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

情報ポケット

財団主催の各種講座の案内やお知らせ

かわさき市民アカデミー新学長・新副学長ご紹介

新学長 和田あき子



かわさき市民アカデミーには、1993年より文学コースを担当させていただいてから、現在に至るまでかわっています。「広がる、つながる、楽しむ」をキャッチフレーズに、ますます充実したものにするよう努めます。

かわさき市民アカデミーは、現在転換期にあり、今後3年の間に(財)川崎市生涯学習財団から、2007年4月に発足したNPO法人かわさき市民アカデミーにその運営を移す予定です。これが実現すれば、おそらく全国のどの自治体でもなしえていない、市民主体の市民大学ができることになるでしょう。

それをめざして、行政と市民が協働で、時代の要請に応える学びの場をつくり上げていきたいと考えています。

新副学長 長島 保



「川崎学」(歴史)の講師として1994年に加わり、98年からは、同講座の編集委員も担当するようになりました。その間、市民の視点に立った川崎学の構築をめざして、志ある方々と学習・研究を積み重ねてきました。

私は、隣の大田区に住む「川崎市民」です。というのは、同じ水道の水を飲み、縁あって川崎とかかわり、市民活動を共にしているからです。だから、私は、川崎と多摩川が大好きなのです。川崎は、東京にも横浜にもない豊かな個性を持ったすばらしいまちです。多摩川や東京湾に育まれた風土と輝かしい歴史があります。

いま、アカデミーは大きな転機に立っています。かわさきの地域に根ざしたアカデミーのあり方を志ある同好の皆さんとともに究めていきたいと願っています。

夏休み子ども創作教室

教室名	内容	日時など	教材費(保険料含む)	申し込み締め切り
陶芸1	立体文字で名前を作る	7月25、26、8月2、9日 9:30~11:30 全4回	1,600円	7月7日
陶芸2	フォトフレームを作る	7月27、8月3、10、17日 9:30~11:30 全4回	1,600円	7月10日
ピンホールカメラ	カメラを作って写真を撮る	7月31、8月1、2日 13:30~15:30 全3回	2,200円	7月14日
木工作	動物型の幻燈機を作る	8月4、5、6日 13:30~15:30 全3回	1,800円	7月17日
油絵	静物画を描く	8月8、9、10日 13:30~15:30 全3回	2,100円	7月22日
工 作	オリジナル地球儀を作る	8月18、19、20日 9:30~11:30 全3回	1,600円	7月24日

会 場：生田中学校特別創作活動センター(旧青少年創作センター)

交 通 手 段：小田急線生田駅徒歩10分 ※学校施設のため、駐車場はありません。

対 象：市内在住または在学の小学1年生から中学3年生

定 員：各教室20人

申し込み方法：往復はがきに①教室名②参加希望者の名前(ふりがな)③性別④学校名・学年⑤郵便番号、住所⑥電話番号を記入し、下記あてに郵送してください。締め切り日必着です。

*複数の教室にお申し込みできますが、1教室につき1枚のはがきでお願いいたします。

*締め切り後、定員に空きがある場合は、引き続き募集します。

申し込み先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

(財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 青少年創作教室係

☎ 044-733-6626

パソコンセミナー受講生募集!

問い合わせ 川崎市生涯学習財団 事業推進室 ☎ 044-733-5894 FAX 044-733-6697

財団が管理運営する施設を紹介

施設めぐり

○青少年の家 ～夏だ！プールだ！～

夏休みの下記期間中にプールを無料開放します。

ただし、6日分の保険料100円が必要となります。

開放日は

8月5日～7日 } 6日間です。
8月19日～21日 }



登録方法

7月に登録の受付を行います。

*所定の登録用紙(青少年の家にあります)に必要事項を記入(保護者印必要)して青少年の家に提出していただきます。小学生(3年生以下は保護者同伴)が対象で、登録した方はプール開放日に利用することができます。

★問い合わせ ☎044-888-3588

○大山街道ふるさと館 ◆常設展示・無料

～人間国宝第1号の陶芸家濱田庄司を知る資料～

二子・溝口は、江戸時代からの神奈川の主要な脇往還の一つである矢倉沢往還(大山街道)が通る街であり、今もその面影を残しています。そこに力強く生きた人々の暮らしは今も営々と受け継がれています。



ふるさと館は、こうした地域に関わる歴史・民俗などに関する資料や地域にゆかりのある人々の文芸作品などを「大山街道ふるさと館の歴史・民俗・自然展」として展示しています。

特に小さな展示室の真ん中には人間国宝第1号の陶芸家濱田庄司の作品が展示してあります。青年期から壮年期にかけての陶芸作品6点と資料が展示されており、濱田庄司を知る貴重な資料となっています。

★問い合わせ ☎044-813-4705

○子ども夢パーク ～夏も楽しい夢パーク～

☆夢♪交響楽(ドリームシンフォニー) —本日はおんがく日和— 「音楽のまち・かわさき」後援

【日時】6月8日(日)開演13:00～(出店部門は11:00オープン) ※雨天決行

夢パークの屋外広場で、夢パークを利用している子どもたちが、管楽器や太鼓などを中心とした演奏会を行います。

当日来所していただいた方々も参加いただけるイベントとなっております。ふるってご参加ください。

☆夢バまつり'08(5周年記念) 【日時】7月21日(月・祝)「海の日」11:00～ ※雨天決行

平成15年7月にオープンした「川崎子ども夢パーク」は、今年で5周年を迎えます。5年間の変化を体感していただき、新たな年を迎えるお祝いの日を一緒に楽しみましょう。

☆夢パーク夕涼み会 【日時】8月30日(土)17:00～※雨天決行(規模縮小)

野外映画会、花火を行います。屋台も出ます。夏の夜のひと時を、夢パークへ夕涼みにお出かけください。

★問い合わせ ☎044-811-2001

○宮前スポーツセンター

☆スポーツデーに新たな種目が!

金曜日と日曜日を除く毎日行われているスポーツデーに新たな種目が加わりました。「ペルビックエクササイズ」です。骨盤調整のストレッチ、骨盤を支える筋肉を鍛えるストレッチを中心に行い、腰痛や肩こりなどの軽減が見込めます。

中学生以上を対象に、土曜日17:45～18:45に実施しています。他の種目同様予約の必要はありません。大人200円、学生100円が必要となります。

☆第2期スポーツ教室の案内

卓球教室: 8月4日から毎週月曜日(全10回)

初級と中級に分けて開講 定員各45名

申込締切6月30日(15歳以上)

※詳細や申込方法については宮前スポーツセンターまでお問い合わせ下さい。他の教室も開催中です。次の機会のためには是非見学にお出かけください。

★問い合わせ ☎044-976-6350

○麻生スポーツセンター ～健康体力相談～

第一・第三土曜日に無料で健康体力相談を実施しています。

体力をつけたい、スポーツを楽しみたい、健康促進など自分の健康に関心のある方は多いはずですが、でも、どうしたらよいか分からない!!そんな方は是非ご相談ください。尚、体力相談は予約が必要となりますので、当スポーツセンターの受付に起こしいただくかお電話でご確認ください。

◆対象 中学生以上

◆場所

◆時間

トレーニング室

①18:00～18:30

◆講師 服部由季夫

②18:30～19:00

(運動生理学者)

③19:00～19:30

相川 宗大

④19:30～20:00

(トレーナー)

★問い合わせ ☎044-951-1234

特集

ふれあいサマーキャンプ

こんなに叫んだのは久しぶり！

気がついたら声がかれていた

今年もわくわくする夏が



1990年に始まった「ふれあいサマーキャンプ」昨年は島根県益田市、今年には沖縄県那覇市が新たにスタートし、個性豊かなプログラムがそろいました。きっと新たな発見ができることと思います。このサマーキャンプの最大の特徴は「広大で豊かな自然の中で思いっきり遊び、楽しむことができる」ことです。そして、地元の子どもたちとの交流や、地域の文化に直接ふれるなどの体験もできます。18年間の参加者は4300人を超え、各市町村では川崎子ども大使として温かく迎えてくれます。キャンプを通じての新しい出会いやたくさんの方々の発見は、夏休みのすばらしい思い出となることなのでしょう。小中学生のみならず、みなさんのお申込みをお待ちしております。

**古座川の子とカヌーで
びゅんびゅん**

金程小学校5年 藤井菜摘

川で泳ぐのは初めてで、海とは違った感じがしておもしろかった。カヌーも初めてだったので仲良くなった古座川の友達といっしょに乗りました。2人で息を合わせて漕いでいるうちに、他のカヌーをびゅんびゅん抜いていっちゃいました。



**益田のオロチと鬼の神楽の
迫りに驚いた**

犬蔵小学校6年 村野岳峰

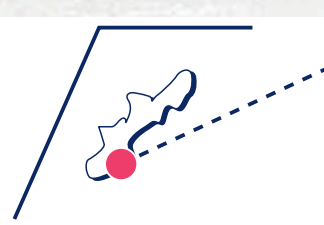
オロチと鬼が出る神楽には迫力がありました。神楽が終わったあとで、その道具をさわらせてもらいました。鬼の仮面とオロチの頭を被らせてもらいました。オロチの頭を被ったとき、こんなに重いのによくあんなにすばやくうごけるなとすっかり感心してしまいました。



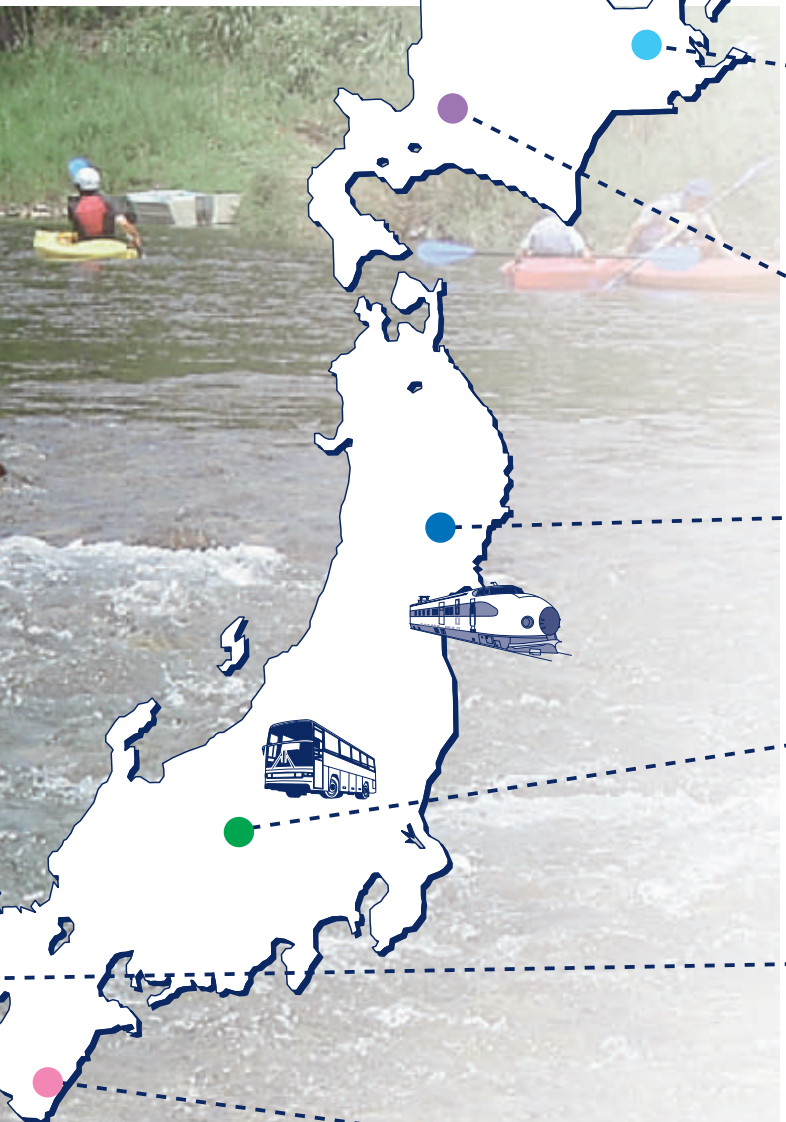
忘れられないモシベツ川の溪流釣り

鷺沼小学校5年 竹國新之介

一番心に残ったのは3日目の溪流釣りです。最初は岩の上から釣っていましたが、釣れないので川に入って釣りました。それでも釣れないので、手づかみしてやろうと10分ぐらいねばったのですが、足が凍ったように痛くなったので、川から出てまた釣り始めました。それでも釣れません。だから来年も中標津に来てチャレンジしたいと思います。



君を待っている



北海道 中標津町 8月19日(火)～22日(金) 3泊4日
対象 小5～中2 **定員** 24人 (小学生16人、中学生8人)
プログラム 往復飛行機、養老牛温泉1泊、バンガロー泊、アイスクリーム・バターづくり実習、溪流つり、学校交流、西別岳登山、摩周湖見学など
費用 小：58,000円 中：69,000円

北海道 岩見沢市 8月18日(月)～21日(木) 3泊4日
対象 小5・6年 **定員** 24人
プログラム 往復飛行機、ホームステイ2泊、キャンプ1泊、郷土科学館、バーベキュー、農業体験、ガラス工芸、学校交流など
費用 小：48,000円

岩手県 花巻市東和町 7月25日(金)～28日(月) 3泊4日
対象 小5・6年 **定員** 42人
プログラム 往復新幹線、ホームステイ2泊、公共施設1泊、さき織り、和紙作り、農業体験、地元の方々との交流会など
費用 小：36,000円

長野県 富士見町 7月25日(金)～28日(月) 3泊4日
対象 小5～中2 **定員** 44人 (小学生33人、中学生11人)
プログラム 往復貸切バス、少年自然の家3泊、おっこう祭り参加、そば打ち体験、川遊び(白州、尾白の森名水公園)ハケ岳中央農業実践大学校食品加工体験学習または「山梨県博物館がいにあむ」見学、登山など
費用 小：18,000円 中：18,000円

島根県 益田市 8月1日(金)～4日(月) 3泊4日
対象 小5・6年 **定員** 24人
プログラム 往復飛行機及び貸切バス、海・山の体験活動、ウナギ捕り、夜神楽、かまど調理、五右衛門風呂、野大豆腐づくり、ペットボトルピザづくり、そば打ち、地元小学生との交流、お寺宿泊など
費用 小：52,000円

和歌山県 古座川町・太地町 8月6日(木)～9日(日) 3泊4日
対象 小5・6年 **定員** 24人
プログラム 往復新幹線と在来線特急、南紀月の瀬温泉3泊、カヌー教室、くじら博物館、熊野古道ウォーク(那智大社、那智の滝など)、木工教室、磯遊びなど
費用 小：37,000円

はいさい！沖縄

ゴーヤの取り持つ縁で那覇市の小学生8人がこの4月に川崎を訪問。「緑が多い」「民家園のような古い家は見たことがない」と感じたとか。でもどうして?初めて見た生のサッカーの試合でサポーターの応援姿にびっくりし、岡本太郎さんの作品に感動した子どもたち。サマーキャンプで会えるといいな。

沖縄県 那覇市 7月31日(木)～8月3日(日) 3泊4日
対象 小5・6年 **定員** 24人
プログラム 往復飛行機、公共施設3泊、農業体験ひめゆりの塔、平和の礎、美ら海水族館、首里城見学、工芸体験、沖縄芸能体験など
費用 小：60,000円

申込みはFAX・ハガキ・Eメールで 6月13日(金)締め切り ※プログラムは変更される場合があります
 申込みの際は、希望者全員(2名以内)の住所、氏名(ふりがな)、電話番号、性別、学校名、学年、希望コースを明記し、下記までお送りください。定員をこえた場合は抽選となります。
 6月21日(土)午後3時より、川崎市生涯学習プラザにおいて公開抽選を行います。
 ■あて先 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
 ■FAX 044-733-6697 ■Eメールアドレス summer-camp@kpal.or.jp
 ■問い合わせ 事業推進室 ☎044-733-5572(月～土) 総務室 ☎044-733-5560(日)
 ■ホームページ <http://www.kpal.or.jp> から「ふれあいサマーキャンプ」をクリックしてください。

まち・ひと・多面体

映画ってこうやってつくるのか！

映画づくりワークショップ

「好きな色は紫。将来の夢は科学者。嫌いなのは算数…」自己紹介の映像を撮るためにカメラを向けられて固まっている子がいます。4月6日に川崎市アートセンターで開かれた映画づくりのワークショップでのことです。参加者は小学校1年生から中学校1年生までの20人。6班に分かれ、各班にボランティアの映画学校の学生がついています。指導するのは映画学校の講師で映画プロデューサーの安岡卓治さん。カメラ操作を学んだ後、午前中は「自己紹介」と「発見を撮る」を



テーマに映像づくり、見慣れた光景にカメラを向けると違うことが見えてきて、子どもたちはチョッピリ興奮。午後は街に出て、自分たちで考えたストーリーで作品をつくります。1日限りのワークショップですが、作品はアートセンターのスクリーンで見るという贅沢さ。

講師陣といい、場所といい、見ているだけでわくわくするワークショップです。ここに編集作業が加われば本格的です。

窓を背にして撮影しながらモニターを覗いていた子が「暗いな」とつぶやきました。補助の学生が「逆光だからね」というと、すかさず被写体を斜めから撮り始めました。今度はきれいに写っています。暗いなと気づいたのも、すかさずカメラを移動させた判断もたいしたもの。

ダミーのフィルムを装填した16mmカメラも大人気。休憩になると子どもたちが群がっています。「ふーん。映画ってこうやってできるのか」とつぶやいた子がいました。この子どもたちが先々、しんゆり映画祭名物のジュニア映画制作ワークショップに参加してくれるといいなあと思いながら、スクリーンに映されたチョッピリ揺れる映像に酔っていました。

なお、3月30日に開かれた「アニメーション1日教室」には30人が参加しました。なかにはキャンセル待ちをした子もいるという人気のワークショップだったとか。

問い合わせ 川崎市アートセンター ☎044-955-0107

朗読の和がひとの輪をつなぐ

音楽と朗読の会「和・輪・わっ！」

2006年、3年間ほど中原区の学校で教育ボランティアとして音楽や読書のお手伝いをしていた有志が中原市民館で「和・輪・わっ！deコンサート」を開きました。この和楽器（箏・尺八・笛・和太鼓）と朗読・合唱・影絵を組み合わせたコンサートからグループ「和・輪・わっ！」が生まれました。

現在、朗読は、声優で「物語シアター」（俳優・声優による朗読・朗読劇）を主宰する堀井真吾さんに習っています。楽器は、演奏できる人が参加しており、いろいろな楽器の組み合わせで朗読劇のスパイスになります。

朗読の勉強をみせていただくと、「あごを引いてリラックスして、土踏まずの上に乗って頭の上の後ろをひっぱられる感じ。胸は張らない！息を吸うとき、おなかは動かない！腰の後に息を入れて吐くときは、お腹の方に落とす」という堀井さんの「姿勢」に対する助言から始まりました。両手の親指を絡めて体を上に伸ばしたり、しゃくりあげて大声を張り上げたりまるで準備運動のようです。「姿勢」へのこだわりはさすがプロです。

一人ひとりが真剣に読み合わせを始めると、「聞いている方を引き込んでやろうと思ひながら、他人に聞かせるのだというサービス精神をもっと出して！」「早口だと独りよがりになる！」「必ず言葉というのは、背後に気持ちがある。自分

で気持ちを検証して」と次々にアドバイスしていきます。2時間の講義は、プロの厳しさと緊張の連続でした。

別の日の朗読劇発表会では、「花さかじい」の朗読に箏による効果音（ハチの飛ぶ音など）や音楽を合わせました。背筋を伸ばした6人のメンバーの緊張の中にある真剣さに、見ている子どもも大人も集中して朗読劇を楽しんでいました。

9月7日「和・輪・わっ！」主催の中原市民館で行うイベントに参加してくれる子どもたちを募集しています。応募締め切りは6月30日。対象は小学校1年生から4年生まで。事前に数回子ども向け朗読講座を中原市民館で受講できる方。

問い合わせ 「和・輪・わっ！」^{だて}達さん ☎090-8848-4228



じっと心を傾けて聴く。
やがて問題はおのずと解けてくる



「子どもの声が聞こえていますか？」という講演会がありました。講師は子ども相談室「モモの部屋」を主宰する内田良子さん。講演会を主催したのは「グループ・ピボ」。女性のためのシェルターを運営するNPO法人です。

内田さんが、悩みを抱える子どもたちがグループで話し合う場を開設すると、10人近くの子がやってきて、やがてその親がやってくるようになったといいます。同じ悩みを抱える親が一緒にいるだけで安らぐようなのです。

悩みが漠然としたままだと不安で頭の中がいっぱいになりがちですが、話すとき等身大の「問題」に整理されていきます。そのとき大事なのが「聴き手」。心を傾けて聴いてくれる人がいると、それだけで、自分で答えをみつけていくと内田さんはいいます。話を聞いてハッとしました。「私は子どもの話をよく聞いている」という人に限って、ついアドバイスしてしまうからです。善意からしていることがよい結果を招くとは限らないのです。

会場のスクラム21の会議室はほぼ満席。男性の姿もちらほらみられました。内田さんは、穏やかな口調で、学校の適切な対応の必要性など手厳しく指摘されました。

お話を聞きながら「学び合い」を大事にした学校づくりによって不登校を激減させた学校の事例が頭に浮かびました。それらの学校では、背伸びの必要な課題を皆で追究するなかで子どもたちの着想をつなぎ、互いが出会う機会になるような授業をつくっていかうとしています。

学校は子どもにとって最大の社会です。そこが子どもたちにとってどういう場になっているかということは重要なことです。「わたし的には…」とか「〇〇系」という言葉にみられるように、最近は自分の言いたいことをほかに表現し、互いに空気を読み合う「優しい」関係が蔓延しているとか。そのために真意を推しはかりながらつきあわなくてはいけないようになり、かえって子どもたちが息苦しくなっているという説もあります。

不登校は特別な子の問題ではなくなったと言われる現在、原因を巡って非難しあうよりも、大人がそれぞれに自分の問題として考えていくことが最も真摯な態度だといえそうです。

シ
ニ
ア
の
パ
レ
ツ
ト

憩いと安らぎを育むまちのたまり場
ゆんたく(おしゃべり)雑貨「おきなわ」

「おきなわ」(川崎区新川通10-3ラ・ソレイユ1階)では、2007年2月から沖縄の伝統楽器、三線(さんしん)を地域の人に教える場を提供しています。きっかけは、お客さんから店内にある三線を習ってみたいと相談されたことです。教えているのは、たまたまお店を知った沖縄県出身の古堅宗一さん。お店で三線を鳴らして歌ってみせたことで、この三線教室が実現しました。メンバーは、小学校3年生から69歳までの約20名、和気あいあい三線を弾きながら沖縄の民謡を地の言葉で歌う「家族的な集まり」ができました。

教室は、木曜日と土曜日の夜7時から9時ごろまで。

皆さん都合のつく日にお稽古に通っています。3月の練習日を覗いてみると、三々五々集まった仲間が自分の三線やお店で借りた三線を持ってチューニング(音合わせ)を始めました。この楽器は曲によってチューニングをしなければなりません。基本は本調子といって最初にチューニングしたまま演奏します。ある曲は、三下りといって三弦のうち一弦だけ音程を下げて演奏するというぐあいです。基本の曲「安里屋ユンタ」(この曲を一番初めに覚えてもらうのは、歌に方言と共通語がまざっているからだそうです。これは、本調子です)から「島めぐり」「祝節」「赤田首里殿内(あかたすんどうんち)」と練習していきます。

川崎に在住する生徒のみなさんは、まるで外国語のような歌詞を歌いながら三線を奏でます。その顔は皆さん、なんともいえない三線の音色にうっとりとしています。



地域のたまりば：
おきなわ(川崎区)



ここで習う魅力を尋ねると「三線の音色が好き」「60の手習いで老化防止」「沖縄が好きで沖縄の音楽が好き」「好きなときに参加できるからいい」「三線を持っていたので沖縄の音楽が演奏したかった」ときまぎます。

先生の古堅さんは、「授業料はありません。お店で飲み物などを頼めば、誰でも気軽に参加できます。ここに習いにくる皆さんは温かい方々だから、教えがいがあります。」とのことでした。店内には、子どもの遊べるスペースもあり、お母さんが三線を習う間に同じ場所でお父さんが子守りのできる、子育て中の方にも優しい学びのスペースとなっていました。

問い合わせ ゆんたく雑貨「おきなわ」 ☎044-200-8658

【訂正とお詫び】161号7ページ左「ナキウナギ」は「ナキウサギ」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

働く。学ぶ。



放送大学の履修システム「放送大学エキスパート」で社会人としての実践力を高めませんか。

【エキスパートの一例】

●実践経営学プラン

企業やNPOなどの組織で、活躍しようとする人のマネジメント力を培います。

●心理学基礎プラン

心理学を包括的に理解するため、入門・初級から、さらにより高いレベルを目指します。

●福祉コーディネータプラン

福祉NPOや地域で活躍する人に求められる福祉や保険の知識、活動知見を高めます。

●芸術系博物館プラン

美術館・演劇博物館などの活動を通じて、芸術文化の普及に貢献する人を育てます。

その他にも社会生活企画プラン、次世代育成支援プラン、異文化コミュニケーションプラン等、全22のプランがあります。
詳しくはホームページをご覧ください。

放送大学10月入学生募集

募集期間 平成20年6月15日(日)～平成20年 8月31日(日)

- ・学びたい科目を1科目から学べる
- ・放送大学の全国50カ所のキャンパスで学べる
- ・学部は試験はありません。入学資格は学ぼうとする意欲
- ・自宅でマイペースで学習
- ・科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)で専門力アップ

電話、FAX、ホームページで募集要項(無料)をご請求ください。

インターネット出願も出来ます。

フリーダイヤル:0120-864-600

FAX:043-297-2781



携帯サイトもご利用ください。



放送大学 www.u-air.ac.jp

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google 等)で、「放送大学」とご入力の上、ご覧ください。

放送大学本部 ☎043-276-5111(代表) ☎0120-864-600

～公開講演会で放送大学を体験してみませんか?～

東京世田谷学習センター ☎03-5486-7701
(世田谷区下馬 4-1-1)

6月21日(土)「激動の中東情勢とアメリカ大統領選挙」
講師: 高橋 和夫(放送大学教授)

神奈川学習センター ☎045-710-1910
(横浜市南区大岡 2-31-1)

6月29日(日)「日本歌曲-その調べと魅力を探る-」
講師: 神宮寺 淑子(放送大学非常勤講師)
詳しくは各学習センターへお問い合わせください

「川崎市生涯学習プラザ」施設利用についてのご案内

すでにご案内のように、8月から、いよいよ工事が始まります。

×8月初旬から9月末まで、全施設が利用できません。
(財団の業務は、通常通り[9:00~17:00]行います。)

◎利用申し込み受け付けは、通常通り行います。

※フィットネスルーム・多目的ルームの申込受付

- ・10月使用分の申込
⇒7月1日申込受付・抽選
- ・11月使用分の申込
⇒8月1日申込受付・抽選
- ・12月使用分の申込
⇒9月1日申込受付・抽選



変更箇所!!

※1階活動室・201・301・401会議室の利用受付開始日

- ・10月使用分の申込
⇒7月2日 利用受付開始 (201・301・401)
- ・11月使用分の申込
⇒8月4日 利用受付開始 (1階活動室・201・301・401)
- ・12月使用分の申込
⇒9月2日 利用受付開始 (1階活動室・201・301・401)

(注:1階活動室は11月1日からの使用となります)

